

2026年度

安全年間計画 つくし保育園

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
安全への配慮	0歳児	○SIDS予防のため、5分おきに睡眠状況を観察する（慣らし保育中は特に気を付ける）　○安全な環境を整え、発達に応じた探索活動が十分出来るようにする。 ○一人一人の発達状況を把握し、危険のないよう側で見守る　○午睡時は溢入や嘔吐物・敷物等で口や鼻が塞がらないようにする ○玩具の大きさや素材に注意する　○抱っこやおんぶをしている時は、保育者の周囲に気を付ける											
	1歳児・2歳児	○SIDS予防のため、5分おきに睡眠状況を観察する（慣らし保育中は特に気を付ける） ○一人一人の発達状況を把握しながら安全な環境を整える ○新しい生活の疲れが出てくるため、一人一人の健康状態に配慮する ○1歳児は低月齢が多いので、玩具の大きさに注意する	○SIDS予防のため、5分おきに睡眠状況を観察する（慣らし保育中は特に気を付ける） ○一人一人の発達に応じた玩具や遊具を用意する ○環境を整え、ケガや事故（転倒・噛みつき等）を予防する ○水分や休息を十分に摂り、静と動の活動バランスに配慮する ○防虫対策を行う　○安全に水遊びが楽しめるよう一人一人の健康状態を確認する	○安全な環境を整え、発達に応じた遊びや活動ができるようにする ○保育者と一緒に衣服の調節をし、薄着で健康に過ごせるようにする ○散歩時は、年齢や発達に応じた計画を立て、移動や目的地での活動は安全に十分配慮する						○SIDS発生防止のため、年齢に応じた間隔で睡眠状況を観察する ○手洗い・うがいなどの大切さを知る ○保育者と一緒に衣服の調節をし、薄着で健康に過ごせるようにする			
配慮事項	全体事項	○毎日の出席・欠席・早退児を必ず把握し、職員間で確認する　○常に子どもの行動の把握に努め、職員間の役割分担を明確にする　○年齢や一人一人の発達に応じた遊具の使い方、遊び方に配慮する　○子ども自身が安全や危険を認識できるような働きかけをする ○睡眠時は、安全な環境を整え、年齢に応じた間隔で睡眠チェックを行う　○水遊びをする時は、監視体制の空白が生じないように職員を配置し、役割分担を明確にする　○窒息の可能性のある大きさ・形状の玩具を置かないことや、手に触れない場所に置く事を徹底する　○食事の際は、一人一人の発達・喫食状況や当日の健康状態などを把握するとともに、食事の様子を観察する　○食物アレルギー児の把握や除去食への対応について、職員間での連携及び確認事項の共有を行う　○体調不良児や配慮の必要な子に対し、一人一人の状態を把握した適切な対応を行う											
（施設・設備・園外環境）		○安全点検表やマニュアルの作成及び全職員での確認・共有 ○災害用備蓄の点検 ○緊急時の合図の確認 ○災害時の職員間の連携についての確認 ○散歩経路の危険箇所確認 ○害虫による被害対策（毛虫、ハチ等害虫駆除、虫よけ虫刺され対策） ○室内外での安全点検（遊具・用具・玩具・避難車等含む） ○災害時非常持ち出し品の確認、点検			○室内外での安全点検（遊具・用具・玩具・避難車等含む） ○災害時非常持ち出し品の確認、点検 ○プール、水遊びの安全管理と事故防止点検 ○冷房設備の点検、準備			○室内外での安全点検（遊具・用具・玩具・避難車等含む） ○災害時非常持ち出し品の確認、点検 ○戸外における遊びの場や動線の安全確認及び戸外遊びの際の健康管理 ○暖房設備の点検、準備、安全対策				○室内外での安全点検（遊具・用具・玩具・避難車等含む） ○災害時非常持ち出し品の確認、点検 ○水道の凍結防止対策	
安全に関する組織活動	避難訓練	○火災地震・非常ベルの音を聞き、避難時の約束を知らせる・避難経路や役割分担を話し合う＊避難場所：はなぐみ保育室	○火災（保育室内キッチン）・非常ベルを聞く・合図を聞いて保育者の所に集まり避難する・非常ベルの合図で子どもを集める＊避難場所：正面入り口	○地震・各部屋で集まり、毛布等をかぶる・揺れが収まり次第、保育者の声掛けを聞き、保育者の所に集まり避難する＊避難場所：ラプライズ駐車場	○火災（施設共有キッチン）・非常ベルの音を聞き、保育者の誘導で非常口から避難する＊避難場所：ラプライズ駐車場	○火災（施設共有キッチン）・非常ベルの音を聞き、保育者の誘導で非常口から避難する＊避難場所：ラプライズ駐車場	○地震・各部屋で集まり、毛布等をかぶる・揺れが収まり次第、保育者の声掛けを聞き、保育者の所に集まり避難する＊避難場所：ラプライズ駐車場	○消防署立ち会い訓練（火災）	○不審者・戸外活動中不審者に遭遇・不審者対応と子ども達の安全確保の担当に別れ行動する	○不審者・戸外活動中不審者に遭遇・不審者対応と子ども達の安全確保の担当に別れ行動する	○地震・各部屋で集まり、毛布等をかぶる・揺れが収まり次第、保育者の声掛けを聞き、保育者の所に集まり避難する＊避難場所：ラプライズ駐車場	○火災（保育室内キッチン）・非常ベルを聞く・合図を聞いて保育者の所に集まり避難する・非常ベルの合図で子どもを集める＊避難場所：正面入り口	○災害避難場所まで歩く
	保護者との連携研修など	○月だよりでの周知 ○お散歩マップ配布をし、施設周辺の安全に関する情報の共有 ○予防接種チェックシートの確認 ○ヒヤリハット共有・分析 研：危機管理マニュアルの確認 研：アレルギー児の対応について 研：散歩マニュアルの確認 研：害虫被害の予防・対策について			○月たよりでの周知 ○保護者へ水遊びの衛生管理及び配慮事項を周知する ○保護者へ生活リズムの調整や体調への配慮を依頼する ○ヒアリハット共有・分析 研：水遊びの安全衛生管理について 研：熱中症の予防・対応について 研：夏の感染症について 研：虐待の防止、早期発見について			○月たよりでの周知 ○保護者へ感染症対策や対応について伝え、施設で感染症が出た際には周知する ○地域の感染症の状況も把握する ○ヒアリハットの共有・分析 ○予防接種チェックシートの確認 ○消防署との総合訓練 研：応急手当について 研：感染症対策・対応について				○月たよりでの周知 ○保護者へ感染症対策や対応について伝え、施設で感染症が出た際には周知する ○地域の感染症の状況も把握する ○防寒具を用意してもらう ○ヒアリハットの年間集計・分析	